

交流・定住の促進により、南部地域・東部地域を、頻繁に訪れてもらえる、住み続けられる地域にします。

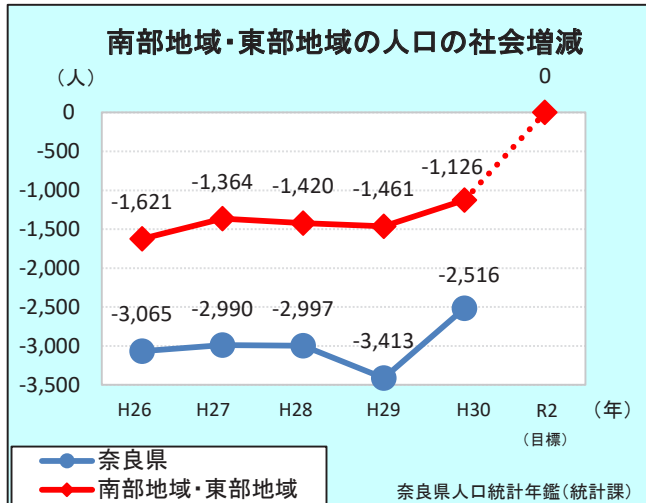
頻繁に訪れてもらえる、住み続けられる南部地域・東部地域の振興

目指す姿

令和2(2020)年度までに、南部地域・東部地域の人口の社会増減をプラスにします。

主担当部局(長)名
南部東部振興監 前阪 祥弘

1. 政策目標(目指す姿)達成に向けた進捗状況

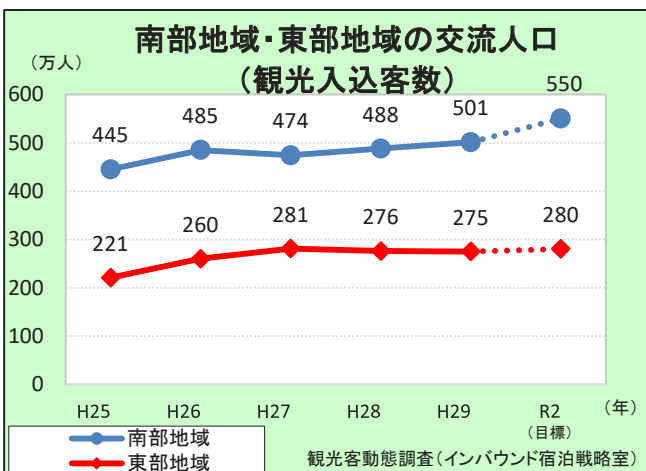


南部地域・東部地域の人口の社会増減(人)				
指標	基準値	実績値	進捗率(傾向)	目標値
	▲1,621	▲1,126	基準値を上回っています	R2までに社会増減をプラス
	H26 (2014) 495人	H30 (2018)		
進捗状況	平成30年は、奥大和移住・定住連携協議会による移住相談ワンストップ窓口担当者研修会の実施や移住促進施設整備事業によるモデルプランの作成等、二地域居住・移住を受け入れる仕組みづくりと拠点整備や、移住者の働く場の確保に取り組んだことにより、南部地域・東部地域の人口の社会増減は1,126人の減となり、基準年である平成26年の1,621人減から495人改善しました。			

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略	南部地域・東部地域での交流を促進します。
----	----------------------

主担当課(長)名	南部東部振興課長 米田 学 奥大和移住・交流推進室長 福野 博昭
----------	-------------------------------------



南部地域・東部地域の交流人口(観光入込客数)(万人)				
指標	基準値	実績値	進捗率(傾向)	目標値
	666	776	67.1%	830
	H25 (2013) 110万人	H29 (2017)	4/7年目	R2 (2020)
進捗状況	奥大和地域の特色を活かしたスポーツ、音楽・芸術イベントの開催や、大手旅行誌・鉄道会社と連携したプロモーションなど観光誘客、情報発信に取り組んだことにより、平成29年の南部地域・東部地域の交流人口(観光入込客数)は776万人と平成25年より110万人増加しました。			

主な成果

- 平成30年12月に県道古瀬小殿線朝町工区(御所市)が部分供用、平成31年3月に国道309号車坂工区(大淀町)が完成供用しました。
- 平成30年6月～9月、12月～平成31年3月に、近畿日本鉄道と連携し、奥大和地域の魅力を発信する観光ツアーを5町村で実施しました。